

声



「今年に入ってから排出企業側の廃棄物処理に対する意識改革は急速に進みつつある。

まだ少ないとはいえ、排出企業側の意識改革に比べると、処理業側は現状に対する危機感さえ持っていない。

『売り上げが減った』『廃棄物の量が減った』というのは危機感ではなく単なるノスタルジィだ。今必要なのは、周囲で急激に変わりつつある状況を正確に認識し、自社がその環境変

化に対してどう対処していくかを早急に決定すること」(廃棄物処理業に詳しい行政書士)

廃棄物処理、リ

サイクルを取り巻く現状や課題、ご意見など読者の「声」を本紙編集部まで寄せて下さい。あて先は、〒101-0061

東京都千代田区三崎町3-1-5・神田三崎ビル3階(☎03・3262・3488、FAX03・5214・6666) またはinfo@nip-po.co.jpまで。

平成21年7月27日
週刊循環経済新聞